

日本産科婦人科内視鏡学会（JSGOE）  
日本婦人科ロボット手術学会（JSGRS）

合併のお知らせ

2024年3月26日に開催された理事会および6月25日に開催された定時社員総会において、日本産科婦人科内視鏡学会（JSGOE）、日本婦人科ロボット手術学会（JSGRS）の2学会は、2026年4月1日から1つの学会として合併することが承認されました。会員の皆様におかれましては、合併にいたる背景や今後について以下声明をご確認いただきますようお願いいたします。

現在、外科内視鏡手術分野全般におけるロボットの普及は著しく、次世代の主要な手術プラットフォームになることは確実です。今後、制度、保険、教育、安全性確保等の面で、ロボット手術に関するさまざまな対応が必要とされる状況になります。

産婦人科領域では、ロボット手術に関連するいくつかの学会があり、これらが連携しつつ対応をおこなってきました。特に、JSGOE および JSGRS は婦人科ロボット手術に関する主要学会であり、JSGOE については技術認定制度、JSGRS についてはプロクター制度の制度設計・運営を行っています。

今後のロボット手術も含めた内視鏡手術全体の発展を考えると、2つの学会が合併し、行政や他領域に対する窓口・意思決定を一本化したうえでより安定させ強化していくべきと考えられます。

JSGOE は腹腔鏡・子宮鏡を含めた、産婦人科内視鏡手術全般における技術認定を含む制度、教育、社会保険、安全性の担保等の幅広い学会活動を行っている、産婦人科内視鏡分野を代表する学会であります。

JSGRS は婦人科領域のロボット手術に特化した学会として、その黎明期からロボット手術の推進を目指し、学術集会の開催やプロクター制度を運営する等の活動でロボット手術の教育および安全な普及を担ってきました。

すなわち、両者はこれまで、異なる立ち位置でそれぞれが必要不可欠な役割を補完しつつ果たしています。

合併における原則的な理念は、両学会は規模の違いはあれ、対等な立場として合併すべきであり、いずれかが他方を吸収するものではありません。合併によって発足する学会は、新たな学会として活動していく方針です。

#### 学会としてのメリット

- ・産婦人科領域におけるロボット手術の諸制度に関する意思決定の迅速化を図れる。今後、ロボット手術が急速に普及・進歩する中で、迅速な意思決定は重要である。
- ・産婦人科領域におけるロボット手術の対外的対応窓口を一本化できる。このことで他学会・厚労省を含む行政・ロボット企業等への対応を一元化しておこなえる。
- ・事務管理・会計等の一元化による事務の簡素化とコスト削減が図れる。
- ・同様な事業を一本化してスリム化することにより、さらに幅広い事業展開がおこなえる。
- ・会員の方へ、内視鏡手術に関する網羅的教育、手術技術の改良、研究の促進など、コミュニティを一元化することにより会員が得られるメリットの相乗効果が期待できる。

合併後は、本学会はロボット手術を含む内視鏡手術に関する統一的な産婦人科分野を代表する学会として活動します。

技術認定制度、プロクター制度等の現時点で運営されている制度については、可能な限り現状のまま Seamless に移行する予定です。

委員会活動・教育活動等については、内容が共通するものは合併し、共通しないものについては継続する方向で詳細は両学会で議論して結論を得ます。

ロボット手術関連の事業については、必要に応じて組織を大きく改編することも視野に入れていきたいと存じます。

2024年8月吉日

一般社団法人 日本産科婦人科内視鏡学会

理事長 万代 昌紀